

クラファンで演奏の場

ヨロナ禍の中高生にエール



口口十回で演奏機会を失つた青葉区の中学・高校吹奏楽部に舞台を提供する「青葉台エールコンサート」が11月23日(日)にフィリアホールで開かれた。ホールでの演奏が初めてという生徒もあり、「緊張したけれど楽しめた」が聞かれた。

このコンサートは、西日本スケアクロニクルが企画し、吹奏楽部による演奏会を

れもあり、そのアドバイスに生徒たちは深く頷いていた。回郎の四月彩田さんと佐久川結衣さんは、「ホールで演奏したのが初めてで緊張したけれど、みんなで1つの音楽を作れて楽しかった」と

同施設の高橋總支配人

ど、今日を迎えるまでは
様々な困難があったので
で、この日を迎えられる
本当に嬉しく、感極まり
ました。地元の方々をはじめ、
この場を作ってくれた
ださった皆さんに本当に
感謝したい。吹奏楽部の
生徒さんたちにどうぞ喜
晴らしい記念になつてく
れれば」と語った。

谷本、田奈、綾が丘中学校

谷本、田奈、緑が丘中学校、横浜翠陽中学・高等学校の吹奏楽部が参加。最初に登場した鶴志田山は、向ヶ丘育英館の力

谷本、田奈、綾が丘中学校、横浜翠陽中学・高等学校の吹奏楽部が参加。最初に登場した轟志田山谷は、「高校吹奏楽部の定番、MONGOL800の「小さな恋の歌」など3曲を披露。演奏後にはプロの演奏家からの講評もあり、そのアドバイスに生徒たちは深く頷いていた。同郷の碧月彩里さんと佐久川結衣さんは「ホールで演奏したのが初めてで緊張したけれど、みんなで1つの音楽を作れて楽しかった」と笑顔で語った。

同施設の高橋總支配人は「コロナの感染状況など、今日を迎えるまで様々な困難がありましたが、この日を迎えられて本当に嬉しく、感謝しました」。地元の方々をはじめ、この場を作つてくださった皆さんは本当に感謝したい。吹奏楽部の生徒さんたちにとって素晴らしい記念にならざれば」と語った。